

第11号

熱田高同窓会報

発行
愛知県立熱田高等学校
同窓会事務局
TEL(052)-652-5858

空から見た熱田高校



同窓会ホームページ

URL:<http://www.atsuta.gr.jp/>

熱田高校ホームページ

URL:<http://www.atsuta-h.aichi-c.ed.jp/>



体育館の改修を終えて

同窓会会長 佐々木 元彦

新秋快適のころとなりました。会員の皆様方におかれましては、益々ご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

昨年の十一月は、熱田高校創立六十周年記念を祝して、各種の事業を盛会のうちに終えることができましたこと、重ねてこの紙面をお借りしてお礼申し上げます。

本会は、『同窓会報10号』から経費節約を図るため、ホームページを利用しての会報の発刊を暫く継続することとしております。このたびは、担当者のご尽力で『会報11号』を発行する運びとなりました。

皆様方とは会報を通じ、共に理解を深め共通の情報を得る為に、より多くの情報をお寄せいただければ誠に喜ばしいことであります。どうぞ、事務局あてに掲載資料等を文書でお寄せいただきたくお願い申し上げます。

創立六十周年の記念寄付事業は、学校の要望にお応えし、老朽化した体育館のどん帳と体育館内の空調設備の更新をさせていただきました。

なお、一連の事業の要望として、体育館と武道場の床面の老朽化対策が残っております。これらは、創

設後一度も手が入ることが無かったがために、床板面の外れ剥がれ、一部の釘の露出現象、また各種競技のラインの剥がれ等が随所にある状態を呈しており、決して安全安心とは言えない状況がみうけられておりました。

本会では、二十五年度の本会の事業として、改修更新を役員会におはかりし、満場一致で賛同を得られましたから、体育館と武道場の床面の老朽化対応にあたり、八月十一日に完成し体育館の一連の事業は完了しました。今後、後輩の教育活動に充ちるなる活動の場としておいに利用され、一層の活躍を期待したいと思います。

これからの課題は、愛知県内の公立高の最初の人工芝設置校として、運動場の人工芝化の実現に向け、調査研究にあたってまいります。芝の設置は、都市部の校庭の防塵被害の防止、雨天時の汚泥防止、運動時の安全対策、地域との連携、サッカー競技の主会場の確保等々、芝化による『利』は多大なものがあると考え、時間はかかると思いますが、実現化に向けて努力してまいります。おわりに、会員の一層のご理解とご尽力をお願い申し上げて報告ご挨拶いたします。

平成二十五年十月吉日

熱田高校六十一年目を迎え

校長 石黒 茂



昨年度の創立六十周年記念事業での体育館整備の一環として、今

年度、体育館と武道館の床面の補修・塗装をしていただきましたこと、同窓会の皆様方に、先ずもって心から感謝申し上げます。傷みがひどくなった体育館の床も見違えるようにきれいになりました。生徒たちは、快適な環境で安全に体育の授業や部活動ができるようになり、大変喜んでいきます。同窓会からの御厚意に感謝し、体育館を大切に使うとともに、先輩方からの期待に応えるためにも、精一杯努力を重ねるよう、生徒たちに話しているところであります。さて、六十一年目を迎えた熱田高校は、今年も順調にスタートをきる事ができました。高等学校では、本年度の入学生から、新しい学習指導要領が完全実施されています。新しい学習指導要領では、基礎・基本的な知識や技能を確実に習得させるとともに、思考力、判断力、表現力などの育成が求められています。本校でもこれに対応した新しいカリキュラムを策定し、週の授業時間も増

やし、趣旨にあった教育活動を展開しています。

部活動では、春のインターハイ予選で、サッカー部を筆頭に、陸上部・テニス部・バスケットボール部・柔道部などが県大会に出場しました。文化部でも物理部が東京大学で開かれたプラズマ・核融合学会主催の高校生シンポジウムで優秀賞を受賞するなど全国的な実績を上げています。

地域活動としては、熱田警察署から、自転車安心安全モデル校に委嘱され、地域での各種キャンペーンに参加しています。また、吹奏楽部も地域から要請を受け、演奏活動を行っています。

しかし、残念なお知らせもありまます。学校の中核であった教務主任の近藤慶先生が、夏休中、校外での部活動の練習帰りに、意識不明となり、急死されました。私ども教職員は、近藤先生の御冥福をお祈りするとともに、一丸となって、この不幸な出来事乗り越えていかなければなりません。

私どもは、社会で活躍されている数多くの先輩方の跡を継ぎ、未来を拓く若者を一人でも多く育て、卒業生の心の拠り所となる学校づくりを目指しています。同窓会の皆様方には、これからも本校の教育活動をしつかりと支えていただきますよう、

よろしくお願い申し上げます。



空調機



正面より



スクリーン



体育館床面補修完成



武道場床面補修完成



体育館補修中



武道場補修中

故 近藤慶先生を偲ぶ

平成二十五年九月二十六日



平成二十五年八月六日、現職の熱田高校教務主任、近藤慶先生のご逝去と

いう、あまりにも衝撃的で悲しい知らせを受けてから二ヶ月になる。ようやく、このことを自分の心の中にどう納めるべきか定まってきたように思う。

近藤先生に初めて出会ったのは、私が本校に赴任するよりずっと前のことだった。彼が知多地区から熱田高校に転勤し、名瀬地区高等学校数学会研究会に顔を出した時だったと記憶している。ずいぶん頭が切れて雄弁な男がやって来た、という印象だった。研究にも熱心で、間もなく我々の共同研究の中心人物となり、研究会では代表として発表を行った。

数年前に、私は将来研究会の委員長を引き継いでもらう人物を探して悩んでいた。彼の顔が頭に浮かんではいたものの、極めて多忙と聞いたことがあったので躊躇していた。ちょうどその頃本校赴任になり、再会した彼に恐る恐る打診してみた。彼はニコニコと、笑うと目のなくなる笑顔で快諾してくれた。彼に救わ

れた。

その後、彼が高校・大学ともに私と同窓で五年後輩であることを知り、より親しみを感じるようになった。歳は下でも、本校教諭としても主任としても彼の方が先輩なので、いろいろ教えてもらった。記憶力に優れ、物知りの彼はとても頼もしく、私だけだけでなく多くの同僚や管理職からも頼りにされていた。生徒や若い教員達も「コンちゃん、コンちゃん」と言って彼を慕い、彼の真似などすると、本人はニコニコしながらそれを眺めていた。皆から愛されているのがよく分かった。

優秀でよく間に合い気立ての良い彼は、さまざまな仕事や世話を引き受け、頑張っていた。彼が逝って暫くは、そういった彼の抱えていた諸々の事柄が彼を苦しめ寿命を縮めてしまったのではないかと、悲しい気持ちになった。確かに彼の人生は短すぎて、彼を失ったことは、我々だれもが口惜しく感じている。だからさぞ本人も悔しかったであろうと思いついていたのだが、はたして本当にそうなのだろうか。彼の人生は苦しいだけのものだったのか。答えはNOだと思う。人生の価値は、その長さがすべてではなく、生きている時に本人がどう感じていたか決まるのではないか。彼は決して忙し

いだけの辛い人生とは思っていないかただだろう。多くの人たちから期待され、自身の能力を活かして次々と仕事をやり遂げていくことに充実感や誇りを感じていたかもしれない。そう考えられるようになって、私の心も少しずつ穏やかさを取り戻すことができた。

人は亡くなっても、故人のことを覚えている人がいる間は、その心の中に生きていくという。近藤先生も、通夜の晩に参列した、式場に入りきれないほど多くの人たちの心の中で生きていくに違いない。

コンちゃん、僕の心の中でもいつまでもニコニコとその無邪気な笑顔を見せてください。

近藤慶先生を慕う多くの方々とともに、心からご冥福をお祈りいたします。

(総務主任 志村俊人)

合 掌



在りし日の授業風景

定時制課程の今

伊藤 太佳彦



現在、定時制高校には「働きながら学ぶ場」というだけでなく、「学び直しの場」や「再チャレンジの場」としての期待が大きくなってきています。本校でも正社員として働く生徒は少なく、中学校時代に不登校傾向にあった生徒や、他の高校を中退して定時制に入学してきた生徒が多くなっています。また、外国籍の生徒も年々増えつつあります。

そういった状況の中、学習活動では「授業を大切に」をモットーに、落ち着いた学習環境づくりと分かりやすい授業を目指しています。多様な生徒が入学してくるため、生徒の学力や学習意欲などには個人差もあります。個々の生徒の状況に応じた指導を行っていくことで少しずつ成長していき、上級生になるほど授業の雰囲気や取り組む姿勢も良くなっています。

毎年六月には、HRの時間などを利用して生活体験作文を書いてもらっています。何人かの作文を読ませてもらいましたが、いろいろな苦労や困難を乗り越えながら成長してい

る姿を感じました。第五十三回愛知県定時制通信制生徒生活体験発表大会では、四年生の森川秀人君が「四年間ダイアリー」という題で発表し、奨励賞を受賞しました。

また、球技大会や体育祭、文化鑑賞会や生徒会行事などの特別活動にも熱心に取り組み、活気ある学校生活が展開されています。

今年度の文化鑑賞会は、ナゴヤドームで野球観戦を行いました。ナゴヤドームに初めて来た生徒も多かったようで、あまり野球に興味がない生徒も、迫力あるプレーやナゴヤドームの雰囲気を楽しんでいたのが印象的でした。

六月の球技大会では、どの生徒も本場に一生懸命バレーボールに取り組み、クラス一丸となってボールを追いかけていました。試合に勝って喜ぶ姿や負けて悔しがる姿など、普段あまり見ることができない生徒の表情をたくさん見ることができました。また、生徒会役員が中心となって準備や当日の運営を行い、教員もチームを作って試合に参加するなど、学校が一つになってがんばった行事だと思います。

昨年度のアンケートでは、「熱田高校定時制に入学して良かったと思う」という質問に対して、八割以上の生徒が「そう思う」、「ややそう思

う」と答えていました。今後も、多くの生徒が「熱田高校定時制に入学して良かったと思う」と答えてくれるような学校でありたいと思っています。



六月の球技大会 バレーボール

生徒会活動の近況報告

生徒会主任 星野 孝之

部活動の活躍について

現在の部活動は、文化部（同好会含）が十八、運動部十の部活動があり、放課後を中心に活動を行っています。

文化部では、物理部が、実験を中心に活動し、昨年度から三年間にもたり、文部科学省の支援を受けることになりました。また、八月に東京大学で開かれたプラズマ・核融合学会主催の高校生シンポジウムで「イルカの円盤キャッチの動きの解説」を発表し、優秀賞を受賞しました。

運動部では、愛知県総合体育大会において、サッカー部・男女バスケットボール部・柔道部・陸上部が県大会に出場し活躍しました。名古屋市内県立大会では、サッカー部・柔道部が優勝しました。

第六十一回学校祭について

本年度も熱高祭が文化祭二日、体育祭の三日間で実施されました。一般公開当日には、天候に恵まれ、九〇〇人を超える入場者が訪れました。今年度は、正門前でモンスタースタインクの主人公を描いたゲート、昇降口前に星のカーヴイーのモニュメント、ブロックごとの垂れ幕、各クラスの旗が入場者を迎えました。生徒たち

は夏休み中から取り組んだ演劇・展示などを体育館・武道場・教室などで発表しました。また、PTA主催の焼きそば・カレーなどの模擬店も文化祭を盛り上げました。

体育祭では、昨年度から熱中症対策で応援席のスタンドの横にテントを設置しました。本年度は、本部・保護者席にもテントを増設し、テントがトラックを囲む形になり雰囲気もよくなりました。

競技は、昨年度より実施しました部活動リレーは、競技の部・パフォーマンズの部の二部構成で実施しました。競技の部では、男子はサッカー部、女子はバスケット部が優勝し、パフォーマンスの部では、演劇部などが華やかな演技で体育祭を盛り上げました。

平成二十五年度高校総合体育大会の結果

大会の結果

《名古屋南支部予選会の結果》

◇競技別

ベスト8相当以上及び県大会出場について掲載

【陸上競技】

男子

三位 4×100 m R

(杉本・倉橋・吉川・井村)

七位 4×400 m R

(杉本・倉橋・吉川・井村)

- 六位 走り幅跳び 倉橋遼太
- 六位 砲丸投げ 大本哲平
- 七位 砲丸投げ 水谷友治
- 女子
- 八位 4×100mR (羽生・加藤・佐藤・水沼)
- 八位 円盤投げ 河合杏

【サッカー】
準優勝

【男子バスケットボール】
七位

【女子バスケットボール】
五位

【男子バレーボール】
七位

【男子柔道】
三回戦



イルカの円盤キャッチの動き解説

熱田高生が優秀賞

全国の高校生シンポ
イルカが円盤遊員をキャッチする動きを解説した熱田区の熱田高校物理部の研究発表が、八月に東京大で開かれたプラズマ・核融合学会主催の高校生シンポジウムで優秀賞を受賞した。部員たちは三日、研究の舞台となった港区の名古屋港水族館を訪れ、職員らに喜びを報告した。

(谷悠巳)

昨夏、名古屋水族館の同館の年間パスを購入したイルカショーを見て円入(二回ほど乗船)、イルカキャッチの動きに魅多方向からビデオ映像を撮ったという部長の話を聞いて分析した。三年、岩田敦史君(心)イルカは円盤目撃を中心に七人の部員がジャンプする前に、

何度も通って研究 名港水族館に報告

水中でVを描くように深く潜る。その視野を再現するため、円盤に見立てた光源をプールに照らして水中から撮影してみると、深い位置に潜るほど見えやすいことが分かった。

「初めは工学的な研究対象として見ていたイルカのことだが、どんどん好きになっていった」と話す岩田君、シンポジウムでは「何度も通って調べた成果がよく表れた研究をホスターや動画で発表し、全国十四校の中から最優秀に次いで調べた成果がよく表れた」と評価を受けた。



祖一誠館長(右から3人目)らに研究内容を説明する熱田高物理部の生徒たち—港区の名古屋港水族館で



がんばれ熱高生

今回は、現職の卒業生に投稿をしていただきました。
第21回卒業生鈴木矢代子先生（熱田高校在職八年）、第23回卒業生青木宏憲先生（熱田高校在職二年）です。先生方には在校生の心の内を語ってもらいました。



一枚の絵

鈴木 矢代子

「熱田の生徒と先生とのかかわり

」という内容で寄稿せよとの命を突然受けた。何を書こうか？生徒の立場か？先生の立場か？散々迷った末、両者をつないで書くことにした。

私の一・三年の担任は、その名のごとく春の小川のような先生だった。いつも大どかに構えていらつしやうて、見守られているという安心感があつた。他の先生方も多士済々で、実に刺激的で、楽しく、充実した、のびやかな高校生活を送ることができた。そのおかげか、中学校の時、担任から「将来教員になってみてはどうか？」と言われて「絶対いや！」と答えていた私が、いつの間にか教員を志すようになっていた。
それから数十年が経ち、縁あつて

母校に教員として舞い戻ってきた。

校舎はあまり変わらず、それなりに懐かしいが、やはり学校の印象は随分違った。年数が経っているのだから当然と言えば当然である。そして更に七年以上の歳月が流れた。この間の学校の変化は一言では表わすことができない。そんな中でとても感激したことがある。担任したクラスの生徒たちが卒業時に文集を制作した。ほとんど生徒が企画して、私は印刷を少し手伝ったくらいだ。その時に一枚の絵と出合った。B4の原紙いっぱい描かれたイラストだった。上方隅にお日様がニコニコ顔で描かれてあつて、「やよちゃん」と注してある。残りの紙面には、クラスの生徒が一人一人の特徴をよくとらえた生物に模して描かれている。皆個性的でのびやかな明るい表情で動きまわっている様子だ。一年間の教室がこの絵のようだったとは思え

ない。むしろ、そこにあつたのは、私の理想郷である。でも、私の思いをなにかしか感じ取ってくれて、こんな絵を文集のために描いてくれたんだと思う。これは、私への最良の贈り物だった。うれしくて、その原画を頂戴して、今でも大切に持つてある。昔の先生に少しでも近付けたように感じられた。

近頃よく思うのは、信頼と安心の中で生徒たちは成長していくということだ。そんなふうに私を育んでくれた高校時代に感謝している。まだまだその時の先生方には及ばないが、少しでも今の生徒たちに思いを繋げていければと思う。

先輩から後輩へ、伝統の継承

青木 宏憲



昭和五十三年
三月に卒業して
二十二年振りに
わが母校に帰る
ことができた

た。正確には大学卒業後三年間非常勤講師として教鞭をとらせていただきましたが、今思い起こせば、なぜ自分は熱田高を選んだのか。当時、全国制覇を成し遂げた同学区の日比野中学から、池田先生（故人）という方が緑区の鳴海中学校に赴任をされました。ある大会の試合後に、その

先生にお声を掛けていただいたことが、高校へ行ってサッカーを続けようという気持ちを奮い立たせました。では、どこへ？。当時の公立高校は熱田高校か刈谷高校が伝統と実力を兼ね備えた学校でした。

そんな中で最終的に受験校を決める時期にさしかかった頃に、全国高校サッカー選手権愛知県大会の決勝をテレビで観ました。決勝の対戦カードは熱田高校対刈谷高校。結果は五対〇で熱田高校の大勝でした。その瞬間、進学は熱田高校に決めました（さらに、決勝戦の会場は熱田高校グラウンドでした）。無事に入学後、当時は学校群制度でどちらの学校行くのか神頼みでした。厳しい先生方（稲垣先生、万前先生（六回生）、森本先生（九回生）など先輩方のご指導で一・二年次に全国高校総体を経験させていただきました。残念ながら、自分が三年時には四連覇がなかった決勝戦で、愛知高校に〇対一で惜敗を喫し全国出場は出来ませんでした。今思い出すとサッカーのみならず、緑区の田舎の中学校から入学した私に挨拶や言葉遣い、目上の方との接し方など、大人として必要な基本的なことも教えていただきました。一部の一年生に何か不備（挨拶の仕方が悪いとか）があると、当時は「集合」といつて一年生全員が集

められ、二年生の先輩方に厳しく指導をされたのも今となっては懐かしい思い出です。私にとって、上下関係を学ばせていただいた場でもありました。

大学進学を決める際に、更なる野心を持ち「関東でサッカーをしたい」（当時の大学サッカーは関東地方が抜きん出てハイレベルでした）。そして将来は、指導者にとり夢をいだき愛知県から飛び出しました。入学後は、高校時代にもかなり走らされたので(?)すが、それを遥か超える量で来る日も来る日も走らされた(走りまわりました)。その甲斐あつてか、高校時代に輪を掛けてかなりの精神力が鍛えられたと思っております。

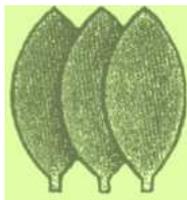
大学を卒業して正規の教員となり、幸いにも歴代赴任校で指導者としてのたくさん経験をさせていただきました。まだまだ勉強の日々は続きますが、その経験と高校・大学で培ったことを、母校で還元したいと思っております。「サッカーは足でやるのではない、頭でやるものだ」。そして「サッカーも生活も考えて動く」をベースに、このすばらしい伝統を築いきてくださった諸先輩に感謝をしながら、伝統を継承するにふさわしい人材を育成できるように頑張っていきたいと思っております。

最近3年間の卒業生の進路別実数(現役生のみ)

年度	4年制大学		大学校	短期大学	短期大学校	専門学校	就職		家事従事	その他	浪人	合計
	国立	私立					公務員	一般企業				
平成24年度	15	224	0	19	0	46	2	3	0	6	34	349
平成23年度	11	233	0	20	0	44	3	0	0	2	35	348
平成22年度	15	196	0	19	0	37	6	4	0	4	35	316

最近3年間の地元主要大学の合格者数[()は浪人の内数]

年度	南山	愛知	名城	中京	愛知学院	愛知工業	中部	愛知淑徳	金城学院	福山
24	10(5)	54(14)	48(5)	29(3)	61	18(4)	40(7)	45(7)	13	12(1)
23	21(3)	61(8)	80(9)	43(8)	55(7)	17(1)	21(3)	53(3)	9	13
22	14(2)	38(5)	32(4)	32(5)	33(6)	5	19	35(2)	9	9



堂章のみどりは、楠の木々に、本校が教育目標とする品格ある人間、気力ある生活人、健康なる日本人を、また、全体にはきよき森を表わして、心の啓示とし、その育成と生々発展とをこい願っている。

最近3年間の卒業生の合格者数[()は浪人の内数]

24年度		23年度		22年度	
富山大	1	北見工業大	1	富山大	1
岐阜大	2	茨城大	1	山梨大	2
愛知教育大	1(1)	東京工業大	1(1)	信州大	1
名古屋工業大	2(1)	岐阜大	1	愛知教育大	1
三重大	3(1)	愛知教育大	3	名古屋大	1
鳥取大	1	名古屋大	1	名古屋工業大	1
大分大	1(1)	名古屋工業	1	三重大	3(1)
琉球大	1	滋賀大	1	鹿屋体育大	2(1)
富山県立大	3	鳥取大	1	富山県立大	3
静岡文化芸術大	1(1)	高知大	1	静岡県立大	1
愛知県立大	4	秋田県立大	1(1)	愛知県立大	1
広島市立大	1	高崎経済大	1(1)		
		愛知県立大	1		
		大阪府立大	1(1)		

同期会だより

第十四回生

十月二十六日(土)
十七時〜十九時三十分
ホテル名古屋ガーデンパレス
中区錦三丁目十一〜十三
〇五二一九五七一一〇二七

第六回生

十一月十七日(日)
十一時〜十四時三十分
賀城園

熱田区夜寒町十六番二十二号
〇五二一六八二一三七四七
(詳細は同窓会HP参照)

十七回生同期会 柿崎賢一

十七回生は同期の同窓会を平成二十五年八月に国際ホテルで盛大に行いました。同級生約一〇〇名と恩師の万前先生・八谷先生・今西先生・市川先生・濱島先生にも出席いただきました。今では若いころの友人と会うのが一番の楽しみですが、とある先生が挨拶されたのが私にはとても印象的でした。

私達十七回生は最近では五年ごとと同窓会を実施しています。今回もちょうど一年前の同窓会総会時に実行委員を決め準備をしてきました。

当日は学生時代の話、定年の話、孫の話、老後の楽しみなど三次会まで話しが尽きずにわいわいがやがやと楽しめました。次回も五年後に計画したいと思います。その時、元気の皆の顔を見たいものです。



左から市川・濱島・八谷・万前・今西の各先生

教職員異動

平成25年度 退職者・転出者及び新転任者一覧

○退職者(敬称略)

(全日制)

大島 修 教諭

南野 純 教諭

太田有美子 実習教員

片渕 政雄 教諭(再)

松浦亜也奈 臨時的任用講師

後藤 佳子 臨時的任用養護教諭

間瀬 憲一 嘱託用務員

(定時制)

安藤 貴代 調理士

川西 正士 教諭

○転出職員(敬称略・転出先)

(全日制)

城ヶ谷和広 教頭

早川 伸治 教諭

尾寄 和秀 教諭

安井 彰浩 教諭

(旭丘高)

(名南工業高)

(中村高)

(豊明高)

小嶋 一史 教諭 (瀬戸高)
中村みさき 教諭 (瑞陵高)
所崎 英樹 教諭 (大府高定時制)
堀田 広聡 教諭 (瑞陵高定時制)
川上 詔二 教諭 (名古屋西高)
平松 茂 主査 (名古屋南高)
鬼頭 隆明 主任 (中川商業高)
(定時制)
中山 史信 教諭 (大府東高)

○転入職員(敬称略・転入元)

(全日制)

奥川 紀之 教頭 (知多翔洋高)

佐藤 高士 教諭 (熱田高定時制)

富田 昌幸 教諭 (鳴海高)

大西ありさ 教諭 (名古屋南高)

矢野 靖子 教諭 (大府東高)

加藤由布子 教諭 (惟信高)

丸山 研人 教諭 新規採用

中西龍司 教諭(再) (旭丘高)

山田和広 教諭(再) (瑞陵高定時制)

渡辺 靖之 期限付任用教諭

貞木 都子 任期付任用養護教諭

木村 克己 臨時的任用教諭

岡山理一郎 臨時的任用講師

林 圭一 主任 (加茂丘高)

岩田 豊子 臨時的任用主事

増田 賢治 嘱託用務員

(定時制)
鈴木 洋平 教諭 (大府高)

市川 昌平 教諭 (五条高)

井上 早苗 期限付調理士

事務局だより

会員名簿2012年版



11月11日発刊済

創立60周年版会員名簿(平成24年11月発刊)は完売です。増刷の予定はありません。ご購入の方は「会員名簿」の管理につきましては個人情報が出しにくいようにご留意いただきますようお願い申し上げます。

業者からの名簿の問い合わせ(進路先・住所・電話等)には同窓会は一切お答えしません。母校職員を装い、電話で進学先、住所、電話番号などを聞きだす者がいるようですが、母校及び同窓会ではそのようなことは一切しておりません。

会員名簿にしましては、同窓会は(株)廣済堂に依頼しております。それ以外は、母校及び同窓会とは一切関係ありませんのでご注意ください。もし、ご不審な点がありましたら、(株)廣済堂または事務局までご連絡ください。

なお、名簿は同窓会会員のみしか販売していません。

訃報

近藤 慶 教諭 平25・8・6

内藤 明広 十回生 平25・8・12

～逝去に接し、謹んでご冥福をお祈り申し上げますと共にお知らせいたします。(係より)

クラス幹事の皆様へ
訃報は悲しい出来事ですが、事務局まで葉書でご連絡ください。

題字 初代書道教諭 名郷紫山